

# 会津塗

## 株式会社三義漆器店

さんよししつきてん

福島県会津若松市門田町大字一ノ堰字土手外1998-13  
 電話 / 0242-2713456  
 FAX / 0242-2713456  
 URL / <http://www.wanyaya.com/>



## 時代に寄りそう 愛される器

きめ細やかな木目、手になじむやさしい木肌、扱いやすい軽さ。余分なものを削ぎ落とし、カエデ本来の魅力を実現した「メープルシリーズ」は、2012年度グッドデザインに選出された人気シリーズ。そのシンプルを極めたデザインは、飽きのこない「用の美」を感じさせます。「伝統的な漆器は、櫛、杓、板、桂といった木を素材に、茶色っぽい摺り漆仕上げしかなかった。北欧モダンやナチュラルな空間にも合う食器。ほんといなとというのが出発点でした」。代表の曾根佳弘さんは、経営に留まらず、新しい商品の開発やプロデュースも手がけるアイデアマンでもあります。

漆塗り職人だった初代がお碗専門店として会社を設立し、2代目の時代に問屋業に進出した三義漆器店。木地、下地、塗り、絵付けなど、分業制の産業システムでは実現が難しい品質の維持のため、自社工場を設立し、一貫生産の体制を作り上げました。成形、研磨、塗装、シルク印刷による加飾と、活気にあふれる量産型工場とは対照的に、漆の手塗り工房では、静かな気遣いで、会津塗伝統工芸士の会長が自ら腕を揮っています。

「うちの製品は、飾っておくものではなく、毎日使ってもらうための器です」。パリやニューヨーク、シカゴなど、海外の展示会にも積極的に出展し、会津塗の品質の高さ、使いやすさを発信する勢いのある企業。原発事故直後は、放射線測定によって安全性が保証されてもキャンセルが相次いだそうですが、攻めの姿勢は変わりません。「より多くの人に、よい製品を使ってもらうのが基本理念。日本でも、もちろん世界でも」。会津塗の「用の美」が世界の食卓に並ぶ日は、すぐそこまで来ています。



④

## プロ集団が 支える高品質

- ① 手塗りの漆は乾くにも時間がかかるため、大量生産はできない。
- ② 長年にわたって磨き上げた技で漆を塗っていく。
- ③ 成形工場でも、人の手をかけて器はつくられていく。
- ④ 代表の曾根佳弘さんは3代目。現場の経験は経営・商品企画にも役立っている。
- ⑤ 会津塗伝統工芸士である会長も、現役で腕を揮う。
- ⑥ インテリアショップや百貨店で目にする食器が大量に並ぶショールーム。



⑥



⑤



001  
**会津塗**  
**メープルボウル**  
 (直径12×高さ7cm) [税込]2,730円  
 国内産のカエデを、会津で美しい器に仕上げました。2012年度グッドデザイン賞受賞。



003  
**会津塗**  
**蓋付マグ**  
 (直径9.5×高さ8.3cm) [税込]840円  
 オリジナルカラーが新鮮。軽く、割れにくく、電子レンジ・食洗機OK。ロット300から承ります。



002  
**会津塗**  
**ランチプレート**  
 (直径26.4×高さ2.5cm) [税込]840円  
 軽く、割れにくく、重ねやすく、電子レンジ・食洗機にも対応。ロット300から承ります。